



Kumamoto University Library Bulletin, No.38, Jan 2004

- ラフカディオ・ハーンの最高傑作は？
- 2003年熊本大学ハーン展示会・講演会のこと
- 第20回貴重資料展並びに公開講演会
～ 第1回～20回までの資料展テーマ～
～ 公開講演会のあゆみ～
- 電子ジャーナル・データベース One Point ③ ScienceDirect



永青文庫熊本大学附属図書館寄託『義士切腹之図巻物』
元禄16年2月4日切腹を仰せつけられた義士に対し細川家では
丁重に扱い一人一人に畳三枚を取りかえたといわれている。

ラフカディオ・ハーンの最高傑作は？

Alan Rosen

ハーン作品で一番よく書けているのはどの作品でしょうか。多くの読者は、『怪談』におさめられた「耳なし芳一」や「雪女」などのよく知られた話を挙げるでしょう。何故なら、それらの話は彼の作品のなかでも最も有名で親しまれているからです。しかし、日本の文化や社会を知るためにハーンを読む人たちは、つまり民俗学者や日本学者としてハーンを読む人たちは、彼の最後の作品である『日本一つの解明』を最高作に選ぶでしょう。この作品は、内容といい文体といい、成熟して均整がとれています。

ところが松江の読者は、その表現が新鮮でいきいきとしているために『知られぬ日本の面影』を好みがちではないでしょうか。それは、だれにも真似できないハーンらしい装飾的で豊かな文体で書かれています。そこには、日本の事物や日本の暮らしの細やかさに対する理解と賞賛の念が表されています。

一方、熊本の読者は、より簡素な文体で、外的な事柄よりも内的な事柄に焦点が合わされた作品、目で見えた事よりも心で感じた事を書いた作品を好むようです。『心』や『東方より』など主に熊本で書かれた作品で見られるように、地元の風景や行事に触発されたスケッチが特に好まれています。例えば、「夏の日々の夢」では語り手は宇土から熊本港へそして長崎へと旅をして戻ってきますし、「停車場で」では、上熊本駅（元の池田駅）が背景になっています。

しかし、内容と文体においてハーンが最も優れているのは、彼に出版するつもりが全くなかった作品、つまりハーンの個人的な書簡においてではないかと私は思います。海外では、彼の書簡に最高の賞賛がしばしば与えられています。彼の文学

作品が、その構造や文体の欠点のせいで文学者から往々にして批判されるのに対し、書簡は誰からも褒め称えられています。実際、その興味深さと読みやすさのために、ハーンの手紙を英語で書かれた世界最高の書簡だとする批評家たちもいるほどです。

賞賛の言葉は、ハーンの死から2年経った1906年にホートン・ミフリン社から初めて出版されたハーンの手紙集とともに始まりました。2巻からなる待望の書簡集の編集には、ハーンがニュー・オリンズ時代に記者をやっていた頃の同僚であったエリザベス・ビスランド・ウエットモアがあたりました。手紙の中から、ハーンと彼が言及した人物のどちらにとっても不都合が生じそうな部分はすべて削除し、ハーンのプライバシーと尊厳と定評を守るという誓約のもとに、ウエットモアはハーン夫人から編集者として選ばれたのです。彼女はまた、売り上げはすべてハーン夫人の手に渡る事を約束しました。編集者として、ウエットモアは金と仕事に関するいくつかの記述を興味を引かない事柄として削りましたが、ハーンが日本や学校の事務官への不平を強い口調で述べた部分も削除しました。そのために、ハーン研究者は、彼が実際に書いた物を読むためには、その原本を探さなければなりません。ですから、ウエットモアが削除した部分や掲載を全く外された数通の手紙を含めたハーンの完全な書簡集が、編纂・出版されることが急務です。そうやって初めて、ハーン最高傑作の全容が全ての人々に享受できることでしょう。

（アラン ローゼン 教育学部外国人教師）

2003年熊本大学ハーン展示会・講演会のこと

西川 盛雄

平成15年(2003年)10月17日(金)から24日(金)まで熊本大学附属図書館で「ラフカディオ・ハーン展示会・講演会」を行った。附属図書館が主催し、熊本大学小泉八雲研究会が参画・協力した。これは昨年に続いての催しである。そして今年もまたさらに充実・発展させてこれを継続して行う予定である。というのは平成16年度(2004年)はラフカディオ・ハーン(小泉八雲)が東京新宿の西大久保で亡くなってから丁度100年の節目の年を迎え、国際的な視野で様々な記念行事が予定されているのである。その思いは、没後100年ということで、2003年度はいわば2004年度に向けたホップ、ステップ、ジャンプのステップに当たる年として重要な意味を持っているのである。

オープニングの17日には熊本アイランド協会を通してアイランド駐日大使のポドリグ・マーフィー氏が来学し、熊本大学にアイランド関係の学術図書43冊を贈られた。これに際して大使はこの日から始まった本学の「ハーン展示会」を見学され、説明を受けられた。

その後、文学部の里見繁美教授の「ジャーナリストとしてのハーン」の講演があり、最終日の24日には文学部の福澤清教授による「ハーンの異文化理解と言語観」の講演で締めくくった。展示の準備には学生も含め関係各位の多大な協力があった。この場を借りて感謝申しあげたい。「展示会、講演会」には本学教職員、学生に加えて一般市民の方々の参加も多数あり、充実したものとなった。

展示品目は多岐にわたる。本学五高記念館から借用したハーン直筆の試験問題、シンシナティとニューオリオンズそれぞれの町についてのハーン滞在当時(1880年)の古地図(複製)、当時の五高生たちの学生生活を物語る多くのパネル写真、嘉

納治五郎先生を加藤神社で送別した時の集合写真(ここには嘉納先生、ハーンに加えて秋月胤永先生の姿もある)、さらに公文書関係の資料のオリジナルや写しも展示された。

附属図書館からはハーン著書の貴重な初版本の数々、ハーンの肖像掛け軸、ハーンが勤務していた「シンシナティ・インクワイアラー」紙と「シンシナティ・コマーシャル」紙のうちハーンが実際に書いた記事が載っている当時の新聞のオリジナル(これは実業家の檜山茂氏から三年前に熊本大学に寄贈を受けたものである)、さらにこれまで『東光原』に書いてきた熊本大学小泉八雲研究会のメンバーによる執筆文の拡大パネルなどが展示され、さらに会場ではコンピューターを通してハーン関係資料の検索の便を図るようにしていた。

日本在住の14年間にハーンは松江—熊本—神戸—東京(新宿)と転居したが、これは期せずして自然が豊かに残り、旧き良き日本の伝統の守られているところから少しずつ守られなくなりつつあるところ(都市部)への旅であった。加えて東京在住時は明治30年から亡くなる明治37年まで幾度も静岡県焼津の海辺近くの山口乙吉の家を訪ねている。海が好きで水泳が得意だったハーンには焼津の荒海と山口乙吉という人物との出会いは格別なものがあったのである。

明治維新とりわけ西南戦争(明治10年)以降、新政府の方針で日本の近代化・西欧化の波は加速度的に大きくなって行く。結果としてハーンは、都会に行けば行くほどそこは逆説的に彼の素直な心から離れた場所となっていく。そんな中にも西洋人の目で生活体験を通して日本を解釈し、『東の国から』に象徴されるように西洋人であるハーン

が日本人の『心』を欧米に対して英語でもって渾身の力を振り絞って紹介していったことは特筆されている。

ハーンは明治24年（1891年）11月19日に春日駅（現熊本駅）に到着、時の第三代校長嘉納治五郎の出迎えを受けた。住まいは官舎を避け、熊本市手取本町34番地の赤星晋作氏の家を借りて住んだ。その息子の赤星典太氏はハーンの教え子である。以後明治27年（1894年）10月上旬に再び新聞記者として神戸（神戸クロニクル社）に移るまでの約3年間、第五高等中学校の英語・ラテン語の教師としてここ熊本の地に大きな足跡を残す事になるのである。明治25年（1892年）11月には坪井西堀端町35番地に居を移すことになるが、日本に関する最初の著作『知られぬ日本の面影』を出版し、長男一雄が生まれたのもここ熊本の地であった。また、旅好きであったハーンはここから隠岐、長崎、京都等の旅にも出かけている。

明治23年（1890年）40才で来日したハーンは当時帝国ホテル支配人だったM.マクドナルドや帝国大学博言学（言語学）教授だったB.H.チェンバレン先生の手で横浜から松江（尋常中学）に英語教師として赴任した。

松江では武家の伝統を受け継ぐ小泉節と結婚、ここでさまざまな興味深い民話や説話に触れ、いなく興味をもつようになる。神話（杵築や出雲大社）と水（宍道湖）のある風景のなかでハーンはギリシャとギリシャに繋がる母（ローザ・カシマチ）のことやアイルランドのトレモア（ウオーターフォード州）の海岸や妖精たちの不思議な世界を思い描いていたにちがいない。

熊本には松江に一年間いた後にやって来たが、後に在熊中の経験に基づいて多くの優れた作品を残している。三角半島を舞台に長崎から熊本に帰る時の旅先の佳品『夏の日々の夢』、上熊本駅（当時は池田駅）を舞台に殺人犯が護送されてきて、自らの手で殺した警官の未亡人とその子供と対面す

るという緊迫した場面を見事に描き出した『停車場で』、第五高等中学校を舞台にして描いた『柔術』や『九州の学生とともに』、五高裏の黒髪村の高台にある鼻が少し欠けた石仏のことを描きながら仏教の内奥について考察する『石仏』、日清戦争を背景に教え子の出兵に際してハーンがこの教え子と人間の霊魂について西洋の解釈と日本の仏教的解釈を対比させる『願望成就』、薩軍と官軍が死闘を演じた西南戦争を歴史的背景としてくり上げられる車屋平七とハーンの緊迫した対話で構成される『橋の上』など、特筆すべき作品はすこぶる多い。

2003年度はアイルランド駐日大使の来学という思いがけなくも幸運な形で「ラフカディオ・ハーン展示会・講演会」の二年目のステップを迎え、これを無事終える事ができた。2004年度はジャンプの年である。これを節目に熊本大学におけるハーン（と漱石）の存在の大きさを確認し、この芽を何とか研究と教育の両面において大きく育てていきたいものである。2004年度の「展示会」は熊本大学の大方の理解を得、是非内外に向けて有意義なものにしたいと思っている。そうすることがハーンに少なからざる恩恵を蒙って来た熊本大学がハーンに対して果たすべき私たちの礼儀のような気がするのである。

（にしかわ もりお 教育学部教授）



第20回貴重資料展並びに公開講演会

梅尾 勝 征

第20回貴重資料展「宝暦の改革と細川重賢」を、10月30日（土）～11月3日（月）の三日間、熊粋祭の期間中に開催いたしました。細川重賢は、江戸時代中期1720年～1785年の熊本藩主で宝暦の改革といわれる行財政改革を断行し、また藩校時習館をたてて人材育成にもつとめ、中興の「名君」とたたえられています。

永青文庫史料より、機密間日記、御役所分職、時習館学規、御刑法草書、拷問図、重賢公御側日

記、押葉帖、衣服御制度等全46点展示し、学内・一般市民含む330名の見学者がありました。また、10月30日（土）には、吉村豊雄文学部教授による「宝暦の改革と細川重賢」と題する公開講演会を開催し、一般市民を含む約85名が参加し盛況でした。



展 示 室



公開講演会

20回を迎えた貴重資料展の公開

附属図書館には、財団法人永青文庫より寄託を受けている膨大な藩政資料、中世資料の逸品を所蔵し、また重要文化財阿蘇家文書など貴重な資料が所蔵されています。貴重資料展は、昭和59年開学記念祭の一環として、学内及び一般市民の方に

貴重資料を公開し開催したのが初めて、平成15年で第20回を迎えることができました。

（とがお かつゆく 情報サービス課専門員）

貴重資料展のテーマ（第1回～20回）

開催回数 / 年	テ ー マ	開 催 日
第1回 昭和59年 (特殊資料展)	永青文庫資料にみる細川氏の入国	昭和59年11月8日～11月10日
	出品資料:熊本城図、熊本之図、御入国行列之図並びに御入国宿割之覚、細川忠興書状、細川忠利書状、沢庵宗彭書状、有馬城攻図、宮本武蔵へ切米の判物ほか 全28点	
第2回 昭和60年 (特殊資料展)	細川重賢没後二百年記念	昭和60年11月7日～11月9日
	出品資料:時習館東西射絵図、毛介綺煥、昆虫胥化図、押葉帖、細川重賢書状、窺帳棧密間日記、御刑法草書、時習館学規、再春館会約、尚書正義版本ほか 全36点	
第3回 昭和61年 (特殊資料展)	細川幽斎関係文学書	昭和61年11月13日～11月15日
	出品資料:出雲国風土記、豊後国風土記、伊勢物語、古今和歌六帖、幼童抄、連歌作法書、和訓押韻、新撰万葉集、幽斎公三斎公御筆謡本ほか 全17点	
第4回 昭和62年 (特殊資料展)	阿蘇家文書	昭和62年10月19日～11月21日
	出品資料:北条時政下文、肥後国司庁宣、北条泰時下文、後醍醐天皇論旨、將軍足利尊氏御判御教書、後奈良天皇女房奉書、加藤清正所領充行黒印状ほか 全35点	
第5回 昭和63年 (特殊資料展)	永青文庫史料による熊本城図展	昭和63年10月27日～10月29日
	出品資料:熊本城之図、熊本城紙図、御花畑御絵図、奉行所之図、熊本所分絵図、平左衛門尉元屋敷家御材木覚帳、古城考、御天守密書ほか 全32点	
第6回 平成元年 (特殊資料展)	永青文庫史料による近世熊本町の生活	平成元年11月7日～11月9日
	出品資料:藤崎宮御祭絵巻物、国郡一統志、芳聞内書:肥後遊草、官職制度考、市井雑式草書附録、町方寸志一件、影踏御免、御祭礼帳頭書、町方諸品直段調帳ほか 全36点	
第7回 平成2年 (特殊資料展)	細川家のローマ字印	平成2年11月8日～11月10日
	出品資料:細川忠興ローマ字印(1-2)、細川忠利ローマ字印(1-3)、米家旧記抄抜書、相談帳、諸奉行帳、袖判借状、女出切手ほか 全31点	
第8回 平成3年 (特殊資料展)	太平記の世界	平成3年11月13日～11月15日
	出品資料:絵入太平記、足利義詮軍勢催促状、御寄附状、管領細川頼之奉書、梅松論、後醍醐天皇論旨、足利直義御教書、高師直書状、大友氏時書状ほか 全53点	
第9回 平成4年 (特殊資料展)	信長と幽斎	平成4年11月25日～11月27日
	出品資料:細川藤考(幽斎)、宛織田信長書状・朱印状・黒印状、明智光秀宛織田信長黒印状、豊臣秀吉宛織田信長黒印状、青龍寺御城之図、田辺御籠城図、幽斎公道記、衆妙集ほか 全44点	
第10回 平成5年 (特殊資料展)	細川重賢の文事	平成5年11月15日～11月17日
	出品資料:靈感院様御懐中日記、重賢公御側日記、銀台遺事、諸先生詩集、重賢公御詩稿、狂歌俳諧、雑事紛冗解、龍ノ口御絵図ほか 全37点	

第11回 平成6年 (特殊資料展)	肥後の博物学	平成6年10月30日～11月1日
	出品資料：毛介綺煥、百卉俸状、聚芳図、花木形状、群芳帳、三千之技折・押花御道中、虫類生寫ほか 全18点	
第12回 平成7年 (特殊資料展)	永青文庫の文学書	平成7年11月3日～11月5日
	出品資料：俊成卿定家卿両筆、歌合類聚、新勅撰和歌集、百人一首注、新古今集略注、歌枕名寄、夫木抄、平家物語ほか 全17点	
第13回 平成8年 (特殊資料展)	絵図で見る細川氏の領国支配	平成8年11月2日～11月4日
	出品資料：慶長国絵図、元禄国絵図、青龍寺御城之図、田辺御籠城図、小倉御城図、熊府之図ほか 全25点	
第14回 平成9年 (特殊資料展)	阿蘇家文書に見る肥後の南北朝	平成9年11月1日～11月3日
	出品資料：北条時政下文、肥後国司序宣、北条時政書下、宇治惟平契状、後醍醐天皇論旨（宿紙）豊前国国宣ほか 全32点	
第15回 平成10年 (特殊資料展)	細川家にみる近代法への歩み	平成10年11月1日～11月3日
	出品資料：御刑法草書、御刑法定式、死刑一卷帳書抜、肥後物語、拷問図、姦犯、追放帳ほか 全29点	
第16回 平成11年 (特殊資料展)	天草・島原の乱	平成11年10月30日～11月1日
	出品資料：有馬城攻図、島原木図幟馬印之図、原城諸手仕寄之図、一揆勢の矢文、投降勧告状、肥前国有馬城之絵図ほか 全45点	
第17回 平成12年 (特殊資料展)	永青文庫にみる細川（藩）の大名屋敷	平成12年11月3日～11月5日
	出品資料：龍口御屋敷之図、戸越御屋敷惣御差図、分間江戸大絵図、芝御屋敷絵図、御花畑御絵図、水前寺元御茶屋絵図、江戸屋舗ほか 全14点	
第18回 平成13年 (貴重資料展)	中世阿蘇社の世界	平成13年11月2日～11月4日
	出品資料：雑訴決断所牒、阿蘇郡四境注文写、北条時政下文、肥後国司序宣、阿蘇社領郷村注文写、阿蘇社領郷々注文、阿蘇社縁起絵巻断簡写、阿蘇社造営記録ほか 全18点	
第19回 平成14年 (貴重資料展)	永青文庫の中の「明治維新」	平成14年11月2日～11月4日
	出品資料：ヲロシヤ人御奉行所江呼出之節市中警護絵図、琉球江渡米之仏郎人応答書、蒸気船之図、黒船図、浦賀之図、亜墨利加人上陸、魯西亜人応接図、相房海岸略図、観音崎御台場之図ほか 全41点	
第20回 平成15年 (貴重資料展)	宝暦の改革と細川重賢	平成15年11月1日～11月3日
	出品資料：被仰渡之趣、靈感院様御代被仰出候御書附等之写、機密間日記、官階令、御役所分職、御条目扣、時習館学規、学校方格帳、尚書正義版木、再春館会約、御刑法草書、律草書、拷問図、除墨帳、重賢公御縁組一途、重賢公御婚礼一卷ほか 全46点	

電子ジャーナル・データベース One Point ③ ScienceDirect

加藤 信 哉

ScienceDirect (SD) はオランダに本拠を置く世界最大の商業学術雑誌出版社である Elsevier とその関連出版社である Academic Press、Churchill Livingstone、Excerpta Medica、The Lancet、Mosby、North-Holland、Pergamon および W.B.Saunders の全電子ジャーナル約 1,800 タイトルを提供する電子ジャーナルサービスです。¹⁾ 熊本大学では平成 12 年度から ScienceDirect を導入し、学内 LAN に接続されているパソコンから 24 時間利用できるようにしています。ScienceDirect が提供している電子ジャーナルの種類、検索機能、アラート機能や利用状況について説明することにします。

1 提供している電子ジャーナルの種類

ScienceDirect の分野別のタイトル数は表 1 のとおりです。自然科学・技術・医学分野の雑誌が大半を占めています。

2 検索機能

利用者の習熟度に合わせてクイック検索、基本検索、上級検索の 3 種類の検索インターフェースが用意されています。電子ジャーナル、データベース、図書の横断検索が可能です。タイトル、抄録、キーワード、所属などを指定して検索することができます。また、ScienceDirect の収録誌に限られますが、当該の論文を引用している新しい論文を検索することができます。さらに日本語によるサポートがあります。

3 電子メールによるアラート機能

雑誌のタイトルを指定して新しい号が刊行されるとその号の目次の送付を受けることができる New Issue Alerts、予め検索式を登録しておくこと

により新しい号が刊行される都度自動で検索を行い、該当する論文の書誌事項を通知する Search Alert、指定した論文が他の論文に引用された都度通知する Citation Alerts があります。

4 Article in Press

受理された論文を冊子体の雑誌が刊行される前に読むことができます。

5 リンク機能

論文の末尾にある参照文献をクリックすることにより、ScienceDirect に収録された雑誌以外に熊本大学で導入している他社の電子ジャーナルの論文を直接読むことができます。

6 利用状況

平成 14 年の利用状況を図 1 に平成 15 年の利用状況を図 2 に示します。平成 15 年の 4 月以降の利用が倍増しているのは全タイトルの提供 (1,200 → 1,800) が開始されたことによるものです。また、平成 14 年と平成 15 年に利用の多かった雑誌 20 タイトルとその利用状況を表 2 及び表 3 に示します。ScienceDirect の平成 15 年の月平均の論文のダウンロード件数は、11,702 件を数え、生命科学・科学技術を中心に活発に利用されているといえるようです。

1) Science Direct のホームページは次のとおりです。

URL <http://www.sciencedirect.com/>

附属図書館ホームページから利用できます。

URL <http://ej.lib.kumamoto-u.ac.jp/>

(かとう しんや 情報サービス課長)

表1 ScienceDirectの分野別タイトル数(分野間の重複あり)

分野	タイトル数	環境科学	100
農学・生物科学	177	免疫学・微生物学	103
芸術・人文学	39	材料科学	156
生化学・遺伝学・分子生物学	296	数学	86
ビジネス・管理・経営	125	医学・歯学	425
化学工学	85	神経科学	127
化学工学	137	看護・健康専門職	59
コンピュータ科学	142	薬学・毒物学・薬科学	92
決定科学	46	物理学・天文学	134
地球惑星科学	118	心理学	155
経済学・計量経済学・財政	107	社会科学	190
エネルギー	56	獣医学・動物薬	22
工学	216		

図1 ScieceDirectの平成14(2002)年利用状況(論文ダウンロード件数)

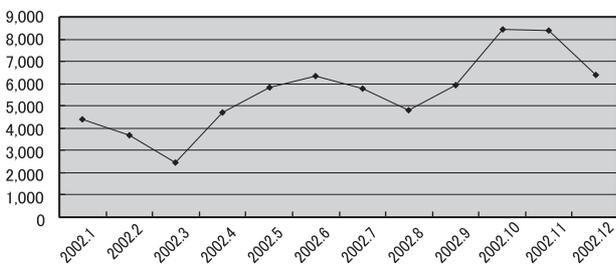


図2 ScienceDirectの平成15(2003)年利用状況(論文ダウンロード件数)

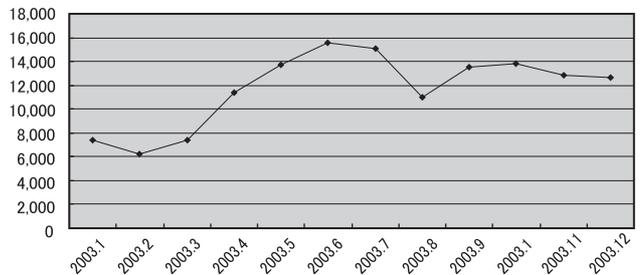


表2 ScienceDirect平成14(2002)年利用上位20タイトル

順位	タイトル	利用件数	インパクト・ファクター
1	FEBS Letters	2,331	3.912
2	Mechanisms of Development	1,867	3.462
3	Tetrahedron	1,507	2.420
4	Brain Research	1,164	2.409
5	Tetrahedron Letters	1,124	2.357
6	Journal of Electroanalytical Chemistry	905	2.027
7	The Lancet	855	15.397
8	Life Sciences	843	1.824
9	Journal of Constructional Steel Research	839	0.296
10	Analytica Chimica Acta	770	2.114
11	Materials Science and Engineering A	697	1.107
12	Gene	696	2.778
13	Neuroscience	643	3.457
14	Automatica	625	1.630
15	Journal of Chromatography A	611	3.098
16	Biochemical Pharmacology	597	3.542
17	Thin Solid Films	590	1.443
18	Journal of Controlled Release	555	3.131
19	Trends in Cell Biology	553	19.880
20	Applied Surface Science	522	1.295

表3 ScienceDirect平成15(2003)年上半期利用上位20タイトル

順位	タイトル	利用件数	インパクト・ファクター
1	Biochemical and Biophysical Research Communications	4,459	2.395
2	Developmental Biology	3,495	5.194
3	FEBS Letters	2,883	3.912
4	Mechanisms of Development	2,840	3.462
5	Tetrahedron Letters	2,695	2.357
6	Tetrahedron	2,236	2.420
7	The Lancet	1,577	15.397
8	Materials Science and Engineering A	1,567	1.107
9	Geomorphology	1,494	1.669
10	Journal of Electroanalytical Chemistry	1,178	2.027
11	Engineering Geology	1,147	0.516
12	Current Opinion in Cell Biology	1,086	7.492
13	Journal of Molecular Biology	1,075	5.359
14	Brain Research	1,071	2.409
15	Biochemical Pharmacology	1,054	3.542
16	Physica C: Superconductivity	1,014	0.912
17	The Journal of Supercritical Fluids	965	1.787
18	Journal of the American College of Cardiology	954	6.278
19	Gene	950	2.778
20	Polymer	921	1.838

③図書館の最近の動き（平成15年7月～12月）

● 職場体験学習

9月30日（火）～10月1日（水）の2日間、熊本市立桜山中学校の2年生3名を職場体験実習生として受入れました。ふだんは、図書館を利用する立場の生徒が、今回はカウンターで図書の貸出し、返却を行い、利用者へのサービス業務を体験し、また働く事の厳しさや心構えを学習しました。

● アイルランド駐日大使から図書の寄贈

この度、アイルランド大使館からアイルランドの文化、歴史、言語、文学に関連する学術図書41冊が寄贈されました。贈呈された学術図書は、研究用図書室に配架しましたので御利用ください。

● ハーン講演会オープニングに駐日アイルランド大使出席

アイルランド関係図書の贈呈式に来学されたポドリグ・マーフィー駐日アイルランド大使は、10月17日（金）に開催されたハーン講演会のオープニングで、ハーンが日本の優美さを世界に紹介したこと、その伝統が今も続いていることを強調した格調高いスピーチを行いました。スピーチに続き、文学部里見繁美助教授から「ジャーナリストとしてのハーン」という題で講演がありました。また、10月24日（金）には文学部福澤清教授が「ハーンの異文化理解と言語観」という講演を行い、100名近い参加者で盛況でした。

● 熊本大学附属図書館ハーン展示会を開催

10月17日（金）から24日（金）まで、熊本大学学術資料調査研究室及び熊本大学小泉八雲研究会と共同でハーン展示会を開催しました。展示会は、ハーンが出題した第五高等学校の英語の試験、図書館所蔵のハーン作品の初版本、アメリカ時代に執筆した約120年前の新聞記事のオリジナル等53点が展示され、一般市民を始めとする200名を越える参加者がありました。参加者からは熊本とハーンとの関わりがよく分かり、ハーンが身近に感じられるようになったとの感想が寄せられました。

● 人事異動

■ 採用（平成15年10月1日）

情報管理課図書情報係 大 倉 桂

■ 異動（平成15年12月1日）

情報管理課長 松 藤 典 生 （鳥取大学附属図書館情報管理課長）

■ 退職（平成15年11月30日）

蓑 原 和 秀 （情報管理課長）

● Lexis Nexis データベースの利用説明会を開催

11月13日（木）にLexis Nexisが提供するデータベースである Lexis.Com の操作概要、リーガル検索、ニュース検索などの機能利用についての説明会が大教センター（情報演習室）で開催されました。Lexis Com は、世界各国の法令・判例文献を収録した海外法律情報データベースや約9000種の新聞・雑誌・雑誌・ニューズレターなど全文収録する世界最大の記事データバンクなど総合的な学術研究情報のオンラインデータベースを提供しています。



大 使



展 示 会 場

委員会報告 (平成15年7月～12月)

図書館運営委員会

■ 平成15年度第1回附属図書館運営委員会(7月8日)

[協議事項]

- (1)「熊本大学学術情報基盤整備計画」について
- (2)平成15年度附属図書館概算要求施設整備について
- (3)保健学科改組に伴う運営方針について
- (4)法人化移行について
- (5)平成15年度教育改善推進費(学長裁量経費)

■ 平成15年度第2回附属図書館運営委員会(10月28日)

[協議事項]

- (1)電子ジャーナル経費負担について
- (2)その他

1)平成15年度学生用図書について

■ 平成15年度第3回附属図書館運営委員会(12月18日)

[協議事項]

- (1)平成16年度以降における電子ジャーナルの負担方法について(再提案)
- (2)法人化並びに情報公開法に伴う関係規則等の改正について
- (3)大手出版社以外の電子ジャーナルの負担方法について

医学部分館図書委員会

■ 平成15年度第2回(9月2日)

[協議事項]

- (1)平成15年度の電子ジャーナル経費不足分の分担について
- (2)平成15年度のDB料の分担について
- (3)平成15年度の学生用図書購入費について
- (4)その他

■ 平成15年度第3回(11月13日)

[協議事項]

- (1)LWW(Lippincott Williams&Wilkins)社のOnline Journal 有料化について
- (2)その他

医療短期大学部施設図書委員会

■ 平成15年度第1回(9月8日)

- (1)平成14年度医短図書室決算について
- (2)平成15年度医短図書室予算(案)について
- (3)平成15年度の学生用図書購入費について
- (4)その他

日誌 (平成15年7月～12月)

- 7/ 7 電子ジャーナル利用支援システムの地域的利用に関する担当者会議 (九州大学)
- 7/ 7-25 大学図書館職員長期研修 (文部科学省)
- 7/ 8 第1回附属図書館運営委員会 (中央図書館)
- 7/29-30 図書館関係職員研修会 (県立図書館、おおづ図書館)
- 8/ 2 九州地区国立大学附属図書館ソフトボール大会 (宮崎総合運動公園)
- 8/18-22 蔵書点検 (中央館)
- 8/25-29 熊本大学インターンシップ (中央館)
- 8/26-29 目録システム地域講習会 (鹿児島大学)
- 8/26-29 図書館等職員著作権実務講習会 (岡山大学)
- 9/ 9 法人化後の ILL 複写料金決裁処理に関する九州地区説明会 (九州大学)
- 9/25 熊本県図書館中級研修会 (中央館)
- 9/25-26 九州地区著作権セミナー (熊本市パレアホール)
- 9/30-10/1 桜山中学職場体験学習 (中央館)
- 10/ 2 大学図書館等関連事業説明会 (九州大学)
- 10/17 アイルランド大使来館 (中央館)
- 10/17-24 熊本大学ハーン展示会・講演会 (中央館)
- 10/20-23 NAIST 電子図書館講座受講 (奈良先端科学技術大学院大学)
- 10/28 第2回附属図書館運営委員会
- 10/29-31 第3回国立大学図書館協議会理事会 (名古屋大学)
- 10/29-31 九州地区医学図書館協議会総会 (琉球大学)
- 11/ 1-3 第20回貴重資料展並びに公開講演会
- 11/ 2 熊本大学研究シーズ公開シンポジウム (グランメッセ熊本)
- 12/ 2 九州地区国立大学附属図書館長懇談会 (九州大学)
- 12/ 2-3 電子ジャーナル取扱い担当者会議 (学術総合センター、国立情報学研究所)
- 12/ 8-9 国立大学図書館協議会シンポジウム (神戸大学)
- 12/18 第3回附属図書館運営委員会
- 12/19 Global ILL Framework と画像伝送システム活用研修会 (京都大学)
- 12/27- 1/ 5 年末年始休館：中央館
- 12/27- 1/ 4 年末年始休館：医学部分館・薬学部分館

一公開講演会のあゆみ一

回数	開催日	公開講演会演題	講演者
第1回	昭和 59.11. 8	細川氏の入国と藩政の確立	松本寿三郎 (文学部教授)
第2回	昭和 60.11. 7	細川重賢と時習館	松本寿三郎 (文学部教授)
第3回	昭和 61.11.13	細川幽斎と永青文庫	荒木 尚 (文学部教授)
第4回	昭和 62.10.19	阿蘇家文書管見	工藤 敬一 (文学部教授)
第5回	昭和 63.10.27	熊本城の問題点について	北野 隆 (工学部教授)
第6回	平成元 .11. 7	近世熊本の町的生活	松本寿三郎 (文学部教授)
第7回	平成 2.11. 8	細川家のローマ字印ー大名印判の性格と機能ー	吉村 豊雄 (文学部助教授)
第8回	平成 3.11.13	中世の合戦と古文書	工藤 敬一 (文学部教授)
第9回	-----		
第10回	平成 5.11.15	細川重賢の文事	西田 耕三 (教養部教授)
第11回	平成 6.10.31	肥後の博物学	今江 正知 (教養部教授)
第12回	平成 7.11. 3	『永青文庫』の文学書	荒木 尚 (文学部教授)
第13回	平成 8.11. 2	絵図で見る細川氏の領国支配	松本寿三郎 (文学部教授)
第14回	平成 9.11. 1	阿蘇家文書のおもしろさ	工藤 敬一 (文学部教授)
第15回	平成 10.11. 1	熊本藩のつみとばつ	山中 至 (法学部教授)
第16回	平成 11.10.31	細川家と天草四郎	吉村 豊雄 (文学部教授)
第17回	平成 12.11. 3	永青文庫による細川家 (藩) の大名屋敷	北野 隆 (工学部教授)
第18回	平成 13.11. 2	中世阿蘇社の世界	春田 直紀 (教育学部助教授)
第19回	平成 14.11. 2	永青文庫の中の「明治維新」	三澤 純 (文学部助教授)
第20回	平成 15.11. 1	宝暦の改革と細川重賢	吉村 豊雄 (文学部教授)

編集後記 : 桜山中学校の2年生3人が職場体験学習のため図書館にやって来ました。中学校の図書室と比べて地下2階まで書庫があることや本の多さに驚いていました。カウンターでは図書の貸出・返却を体験してもらいましたが3人とも、とても緊張しているようでした。その姿をみて約1年前、初めてカウンターに座り、どきどきしていた自分のことを思い出しました。本が好きだという3人が今回の体験により図書館の仕事を好きになってくれて、いつの日かまた一緒に働ける日がきたらいいなと思いました。(さ)

熊本大学附属図書館報「東光原」(とうこうげん) *
第38号 (2004.1)
平成16年 (2004年) 1月発行

発行所 熊本大学附属図書館
〒860-8555 熊本市黒髪2-40-1
TEL: 096 (342) 2273 FAX 096 (342) 2210
<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/tokogen/>
編集 加藤信哉、梅尾勝征、浦田博臣
安陪光恭、森下和博、坂崎直美

※ 現在の中央館の敷地一帯が、旧制第五高等学校時代東光原と称する運動場であったことに由来する。